ぬまづの宝 百選めぐり 第89回

故郷沼津 芹沢光治良

芹沢光治良は、明治29年に我入道に生まれ、県立沼津中学校を卒業しました。その後、「ブルジョア」でデビューし作家の道を歩みます。国内外で高い評価を受け、平成5年に96歳で亡くなるまで精力的に執筆活動を続けました。偉大な作家でありながら、出版社が誤ってルビを振ったことをきっかけに、自身も「こうじろう」を名乗ったことや、生まれ年について、明治29年と30年どちらが正しいか聞かれ、どちらでもいいと答えたエピソード等から、物事にこだわらない人間味のある人柄であったことがうかがえます。また、沼津への強い想いがあり、故郷の豊かな自然や美しい風物が自分の性格や文学の基本であること、また、結核療養のためにスイスに滞在した際も故郷の風景を瞼に浮かべ生きて還ると自分を励ましたと記しています。

このように、生涯沼津との繋がりを大切にした光治良ですが、本年は光治良が作家になって90年目、令和3年は母校県立沼津中学校（現・沼津東高等学校）の創立120周年にあたります。この節目に芹沢光治良記念館では、光治良の人格形成に大きな影響を与えた沼津中学校との関係に焦点を当てた企画展を開催しています。展示品の沼津中学校の回覧誌には、光治良が寄稿した文章が多数掲載されており、既にその才能を感じさせます。また、当時の光治良は、苦学生ながら文芸部委員として活躍し、中学時代を謳歌した様子が見て取れます。その他、恩師・前田千寸との交流が分かる手紙等も間近に見学できます。企画展担当者は、「展示をきっかけに、青春時代の等身大の光治良の姿や、沼津での経験が作家光治良の原点となったことを知っていただき、実際に作品を読んでもらえれば幸いです」と話します。

この機会に、沼津を愛した文人の足跡を偲んでみませんか。

問芹沢光治良記念館　TEL 055・932・0255

※企画展「光治良と沼中・東高」は12月6日㈰まで開催中です。

沼津東高等学校
旧校舎正門にて（御幸町）

広報ぬまづ
©NUMAZU City Office
広報ぬまづ　2020年11月1日号　No.1632
https://www.city.numazu.shizuoka.jp/
広報紙に関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は
〒410-8601 沼津市役所 広報課までどうぞ。
■TEL 055-934-4703
■FAX 055-935-1560
■メール kouhou@city.numazu.lg.jp
この広報紙は、再生紙を使用しています。